
2010年02月21日

Time management of "合格物語"

前記事のコメントで、昨年学科合格されたエムキラさんより

法規は答えが×になる問題を全検索&プリントアウトして、どこが間違っているのか線引きしていくと、意外とJさんのおっしゃる簡単トラップが巧妙に仕掛けまわられているのがわかりますヨ。(2順目終わったら・・・かな?)

こんなネ申コメントをいただいた！！

じよ、上級編だ！

これは紙で勉強してるのでは絶対にできない手法ですよね。

これぞ合格物語。

法規に突入いたしましたはや10日？(聞くな)

時間かかっております。想定内ですが。

今日昼ごはんを食べながら改めて考えました。

学科Ⅰ(計画)20問

学科Ⅱ(環境・設備)20問

試験時間:2時間→3分/問→45秒/肢

学科Ⅲ(法規)30問

試験時間: 1時間45分→3分30秒→52.5秒/肢

学科Ⅳ(構造)30問

学科Ⅴ(施工)25問

試験時間: 2時間45分→3分/問→45秒/肢

……………！！！！

ふう……………

とりあえず今は1巡なので時間かかったとこ勝負なわけ
ですが
2巡以降はある程度意識していかねば、と思いを新た
にしたのでした。

そこでコチラ(ジャパ○ット臭)

109 問中 92 問正解 正解率: 84 % 所要時間: 1778 秒

コード	問題文	あなたの回答	答え	所要時間
17082	耐力壁の脚部におけるSD285Aの鉄筋の重ね継手は、コンクリートの設計基準強度が27N/mm ² の場合、フックなしとし、その重ね継手	×	×	9秒
17083	屋根スラブの出隅及び入隅の部分については、ひび割れを防止するために、屋根スラブの補強筋を屋根スラブの主筋の上端筋の下側に	○	○	24秒
17084	柱の主筋のガス圧接の継手位置は、梁上端から「500mm以上、1,500mm以下、かつ、柱の内法高さの3/4以下」とし、隣接する鉄	○	○	27秒
17085	ガス圧接継手の外観検査の結果、明らかな折れ曲がりを生じて不合格となった圧接部については、再加熱して修正した。	○	○	6秒
18121	ガス圧接継手において、圧接作業当日に(社)日本圧接協会認定の鉄筋切断角切断機により鉄筋を切断したところ、ばりが生じた	○	○	13秒
18122	SD845のD25とD28との継手については、手動ガス圧接とした。	○	○	10秒
18123	SD845のD19とD22の鉄筋相互のあきについては、使用するコンクリートの粗骨材の最大寸法が20mmの場合、30mmとした。	○	×	12秒
18124	スパイラル筋の重ね継手の末端については、折曲げ角度を135度とし、余長を6d(dは異形鉄筋の呼び名に用いた数値)以上とした。	○	○	12秒
18125	梁の主筋とあばら筋とが交差する鉄筋相互の結末については、四隅の交点において半数行い、その他の交点において半数以上行っ	○	○	4秒
19082	設計図書に特記がない場合、ガス圧接継手において、圧接面のずれが鉄筋径の1/4を越えた圧接部については、再加熱して修正し	×	×	7秒
19081	設計図書に特記がない場合、大梁に90°フック付き定着とする小梁の主筋(上端筋)については、大梁のせいが小さく、そのフック部を	○	○	55秒
19084	設計図書に特記がない場合、ダブル配筋の耐力壁の開口補強筋については、壁筋の内側に配筋した。	○	○	85秒

合格物語なら時間管理が無意識にできるんです。

これは便利！！(その胡散臭い言い方やめなさいて)

いやマジでこれPCソフトならではですよ。

紙の問題集なんかじゃそれこそ時間の無駄。

自分の弱点の把握にもなります。

当面は遠くを見ず、1巡クリアだけを考えて進めてゆきます。

今日のはかなりの時間を勉強に費やすことができたんですが
やっぱり1時間半～2時間に1回は休憩が必要ですね。

今日はこの映像に癒されました。

ちょうどいい長さなので自分ように貼っとこ。